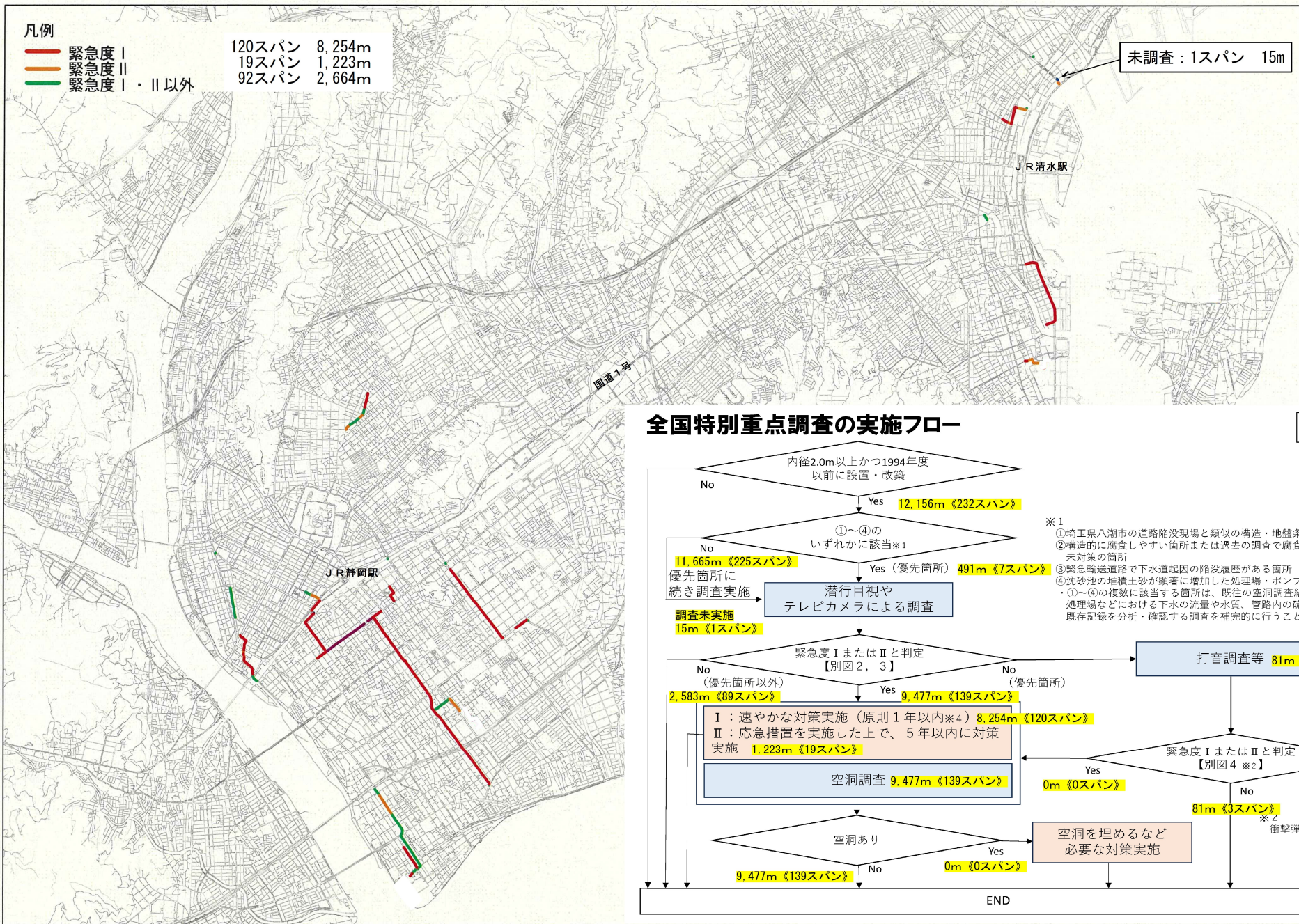


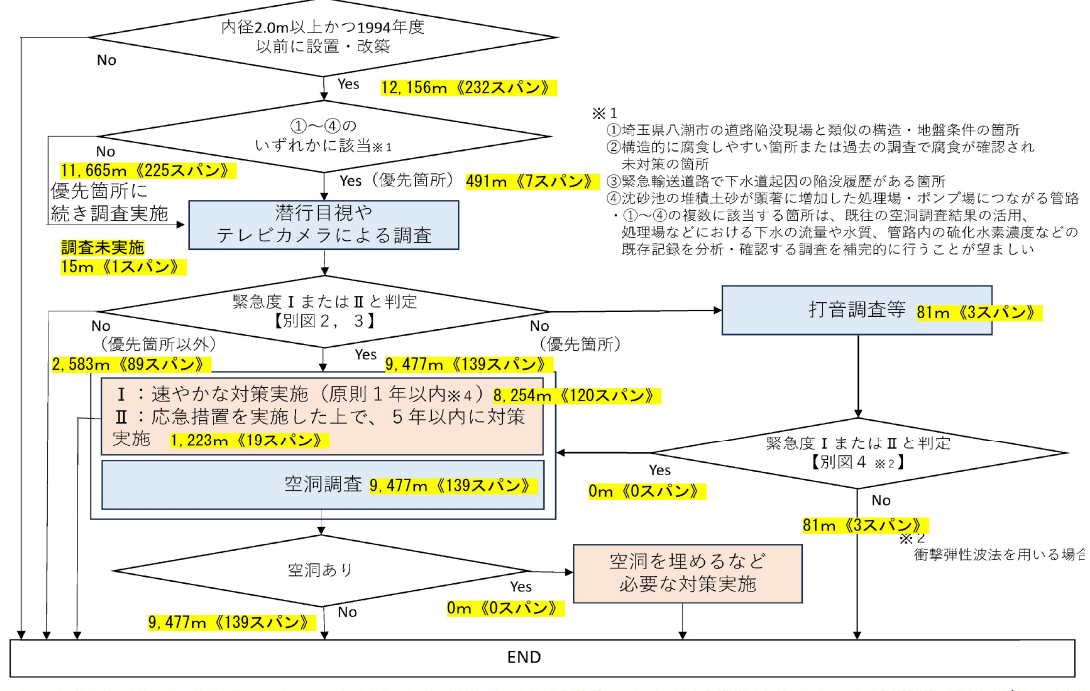
重点調査緊急度判定分布図 (優先箇所含む全て)

- 凡例
- 緊急度Ⅰ 120スパン 8,254m
 - 緊急度Ⅱ 19スパン 1,223m
 - 緊急度Ⅰ・Ⅱ以外 92スパン 2,664m



全国特別重点調査の実施フロー

別図 1



※1
 ①埼玉県八潮市の道路陥没現場と類似の構造・地盤条件の箇所
 ②構造的に腐食しやすい箇所または過去の調査で腐食が確認され未対策の箇所
 ③緊急輸送道路で下水道起因の陥没履歴がある箇所
 ④沈砂池の堆積土砂が顕著に増加した処理場・ポンプ場につながる管路
 ・①～④の複数に該当する箇所は、既往の空洞調査結果の活用、処理場などにおける下水の流量や水質、管路内の硫化水素濃度などの既存記録を分析・確認する調査を補完的に行うことが望ましい

※2
 衝撃弾性波法を用いる場合

-118,854.2
15033.4

